

## 重点施策 1 1 活力あふれる公民館活動の推進

### 【施策方針】

生涯学習社会の期待に応えるため、時代や地域住民のニーズに応じた必要課題について学習機会を提供し、生涯学習に関する情報収集と発信に努める。

生涯学習に関する関係機関・団体と緊密に連携することにより、地域活動の核となり、コーディネーターの機能を発揮するとともに住民が気軽に立ち寄れる身近な交流の場、学習の場を提供し、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実
- ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実
- ③ 公民館施設の修繕・備品の充実

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 中央公民館と地区公民館の連携及び活動の充実

中央公民館（保内別館を含む）も出席した地区公民館主事部会を毎月1回、館長主事合同会を年3回開催し、公民館活動の発展に寄与することを目的に公民館相互の連絡調整・情報交換を行った。

公民館職員としての資質の向上を図るため、各種大会や研修に参加したり、毎年1月には公民館研究大会を開催したりと日々研鑽を積み、地元地区の活動に生かしている。

##### ② 市民ニーズに対応した生涯学習教室の充実

中央公民館（保内別館を含む）において、生涯学習教室（パッチワーク、陶芸、健康体操、ヨガ、硬式テニス、さんきら自然講座、パン・お菓子、八幡浜タウンツアーリズムパートⅡ、茶道、ヘルシークッキング、習字、パソコン、デジカメ写真）を開催したところ230名の受講者があった。

また、各種団体・サークル活動による中央公民館（保内別館を含む）の利用者は年間21,617人あり、地域住民の身近な交流の場、生涯学習活動の場として有効利用が図られた。

##### ③ 公民館施設の修繕・備品の充実

各地区公民館・自治公民館の現状、緊急性、必要性等を考慮し、限られた予算の中で施設の整備充実を図っている。

### 【事務事業点検評価委員意見】

- コロナ禍にあっても、生涯学習教室の受講者や公民館の利用者の数は、さほど減少することもなく、いかに地域住民の交流の場、生涯学習の場としての公民館活動が浸透・定着しているかが伺えることは大変すばらしいことである。
- 地区公民館の役員等の成り手不足については、小規模地区ほど難しく、次に繋がるリーダーの養成も重要である。
- 新型コロナウイルス感染症の第5波から第7波へと流行拡大が懸念される中、感染対策を充分に行った上で、少しずつ緩和し、元の状態の活動ができるようになればよいと思う。

### 【自己評価】

- 生涯学習教室では、受講者からのアンケートを取っており、今後もアンケートを基に、利用者のニーズにあった教室を考案し、地域住民の交流の場、生涯学習の場として浸透・定着していくよう努めたい。
- 主事・主事補の研修会や研究大会を充実し、次に繋がるリーダー養成に努める。
- コロナ過において、公民館での事業はほぼ実施できない状態であった。今後は、できることから少しずつ事業を実施していけるよう努める。